

# CC-EPOC

Clinical Clerkship E-Portfolio of Clinical training

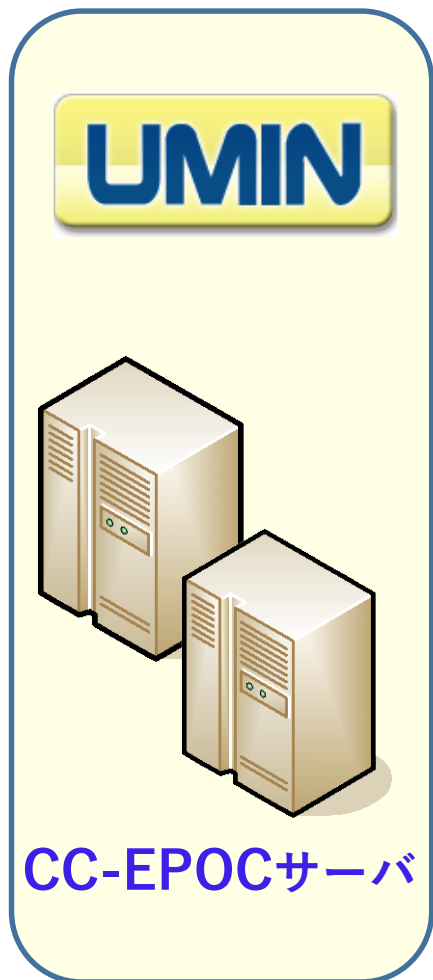
卒前学生医用  
オンライン臨床教育評価システム

(一社) 国立大学病院長会議 EPOC運営委員会

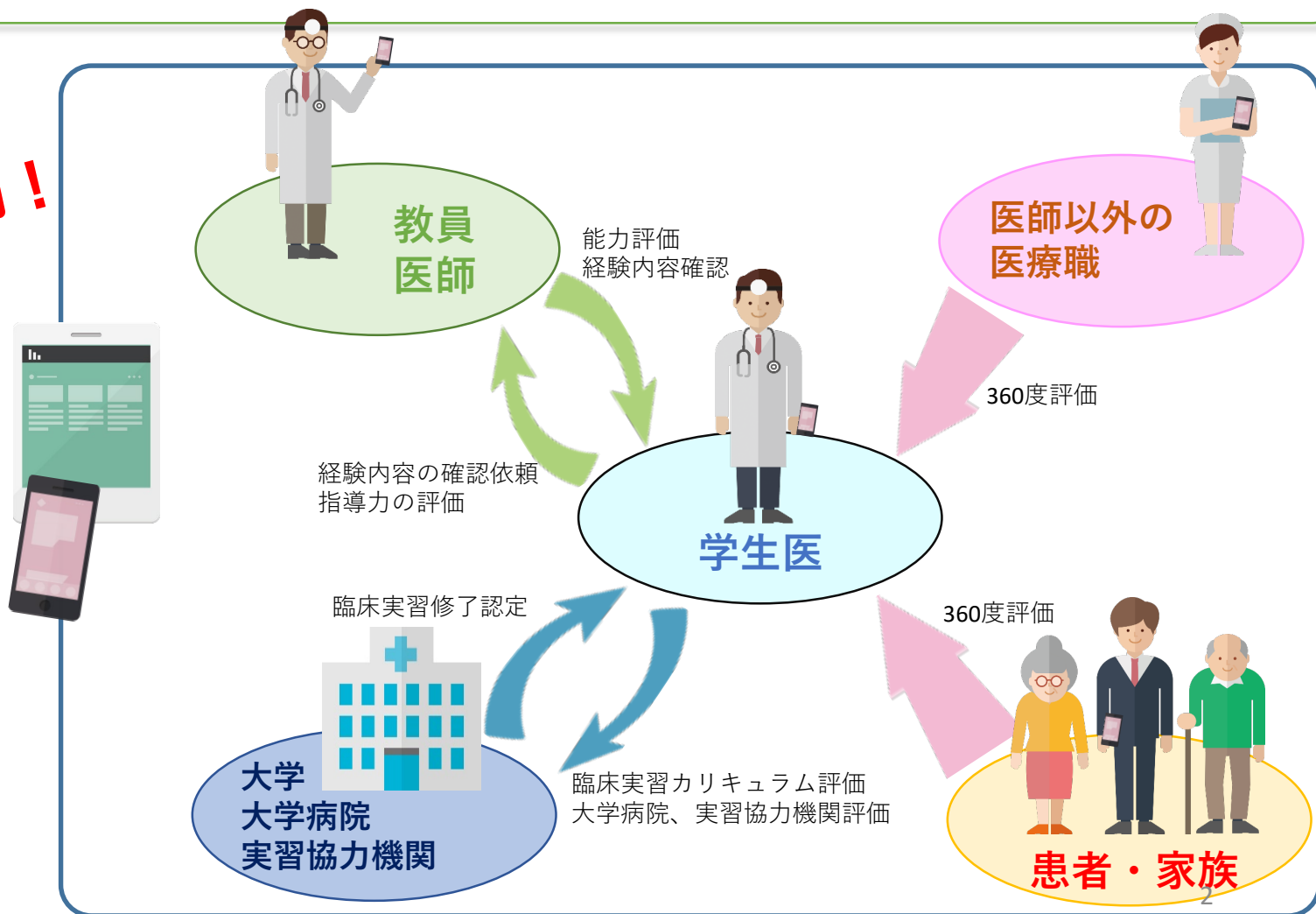
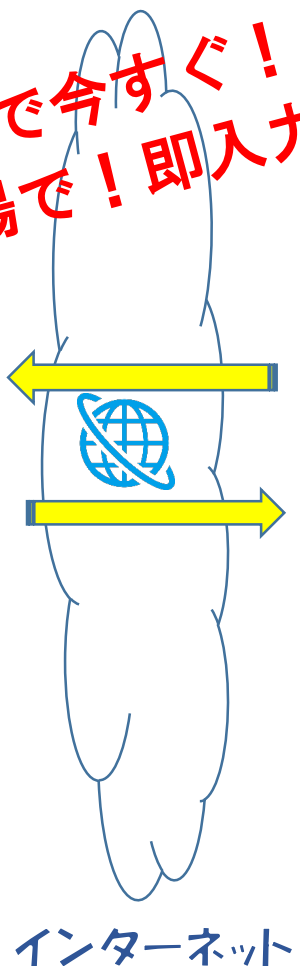
# CC-EPOCとは？

医学生の臨床実習の記録を  
スマホで収集する情報システム

1. 卒前臨床実習（医学生）と卒後臨床研修（医師）の経験・能力評価をシームレスに連携
2. 患者と家族による医学生評価機能

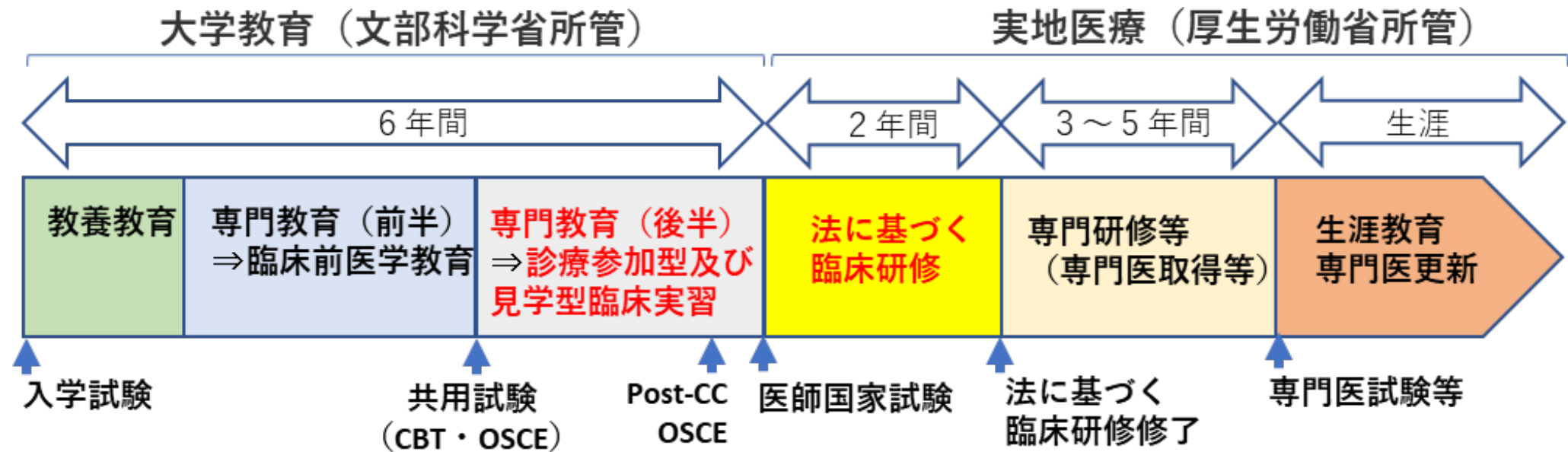


スマホで今すぐ！  
この場で！即入力！



1. 卒前臨床実習（医学生）と卒後臨床研修（医師）の  
成長（経験・能力）をシームレスに連携して評価

# 日本の医師養成の流れ



# 到達目標

## [卒前] 臨床実習

### 医学教育モデル・コアカリキュラム

### 臨床実習の到達目標

診療参加型臨床実習実施ガイドライン

VI. 学修と評価の記録 (例示)

**臨床実習の到達目標**

この「臨床実習の到達目標」は、全国の医学部で共通に使用しているものです。本学の診療科ごとに到達目標も設定されていますが、自分の学んだ・経験した内容を確認するために使用して下さい。各項目の横にある□は学生の自己評価チェックに使用して下さい。また適宜、教員の先生にコメントをもらってください。

1 診療の基本(医師として求められる基本的な資質・能力)より)

1 プロフェッショナリズム	自己評価	指導医評価
(1) 医の倫理と生命倫理	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
1) 医学・医療の歴史的背景とその意味を概説できる。	□ □ □ □ □	□ □ □ □ □
2) 臨床倫理や生命に関わる倫理的問題を概説できる。	□ □ □ □ □	□ □ □ □ □
3) ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師会章等医療の倫理に関する規範を概説できる。	□ □ □ □ □	□ □ □ □ □

指導医のコメント \_\_\_\_\_

指導医のサイン \_\_\_\_\_

(2) 患者中心の視点	自己評価	指導医評価
1) リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。	□ □ □ □ □	□ □ □ □ □
2) 患者の自己決定権の意義を説明できる。	□ □ □ □ □	□ □ □ □ □
3) 選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。	□ □ □ □ □	□ □ □ □ □
4) インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。	□ □ □ □ □	□ □ □ □ □

指導医のコメント \_\_\_\_\_

指導医のサイン \_\_\_\_\_

## [卒後] 臨床研修

### 臨床研修に関する省令の施行通知

### 臨床研修の到達目標、方略、評価

(別添) 臨床研修の到達目標、方略及び評価

臨床研修の基本概念 (医師法第一六条の二第一項に規定する臨床研修に関する省令)

臨床研修は、医師が、医師としての人格を高め、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において幅広く応用できる能力を身に付けることのできるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

—到達目標—

I 到達目標

医師は、病める人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を認識し、医師としての基本的価値観 (プロフェッショナリズム) 及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付けていく必要がある。医師としての基礎形成の段階にある研修医は、基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得する。

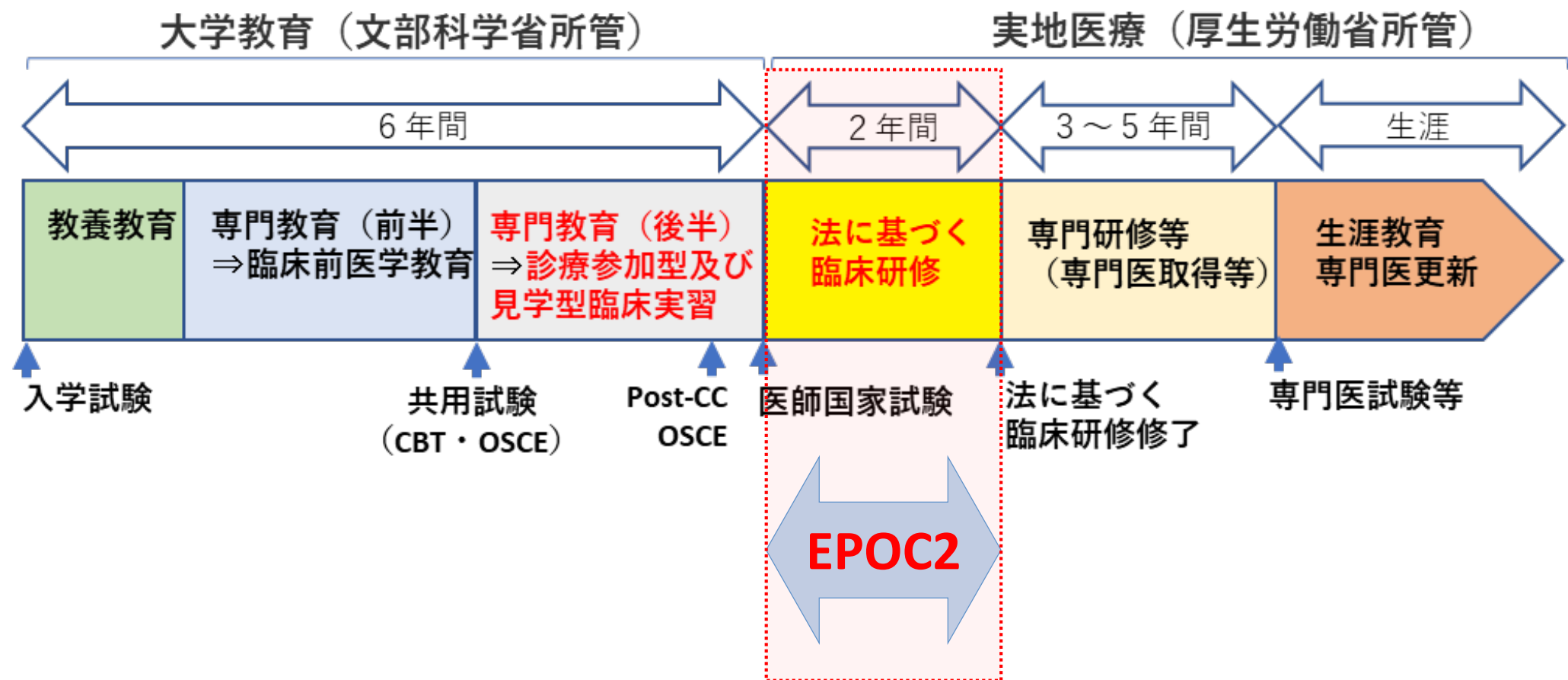
A. 医師としての基本的価値観 (プロフェッショナリズム)

- 社会的使命と公衆衛生への寄与  
社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。
- 利他的な態度  
患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。
- 人間性の尊重  
患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。
- 自らを高める姿勢  
自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

B. 資質・能力

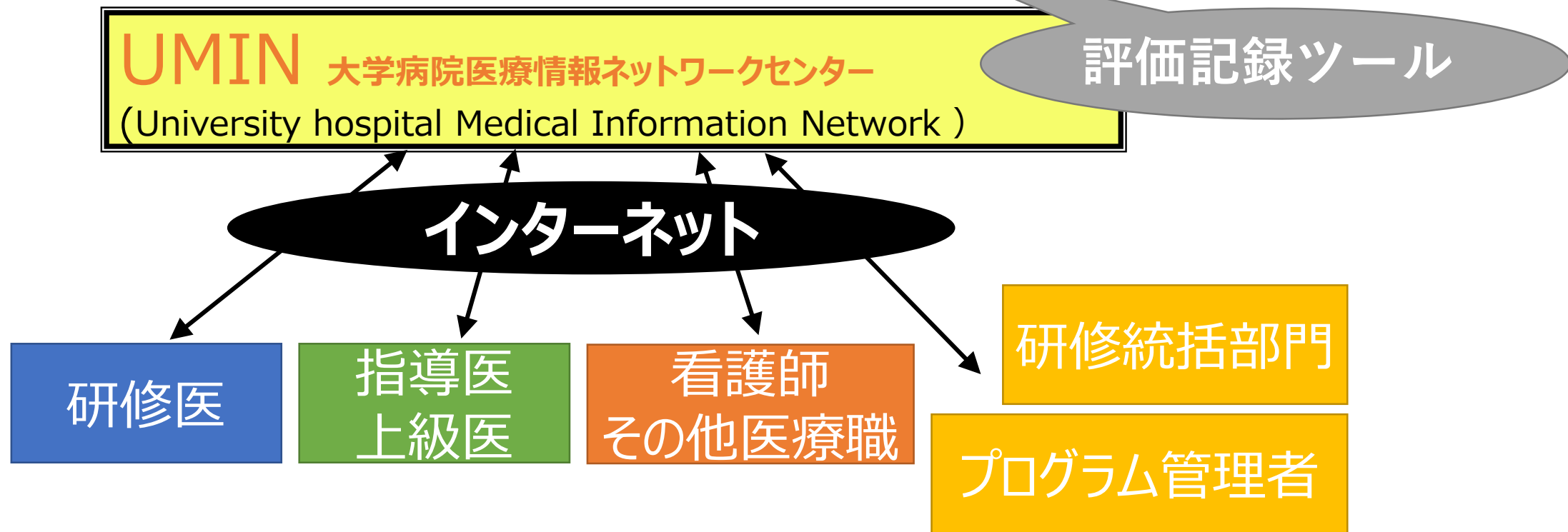
- 医学・医療における倫理性

# 臨床実習／臨床研修の評価・学修履歴の記録 [現在]



# EPOC2 オンライン臨床教育評価システム

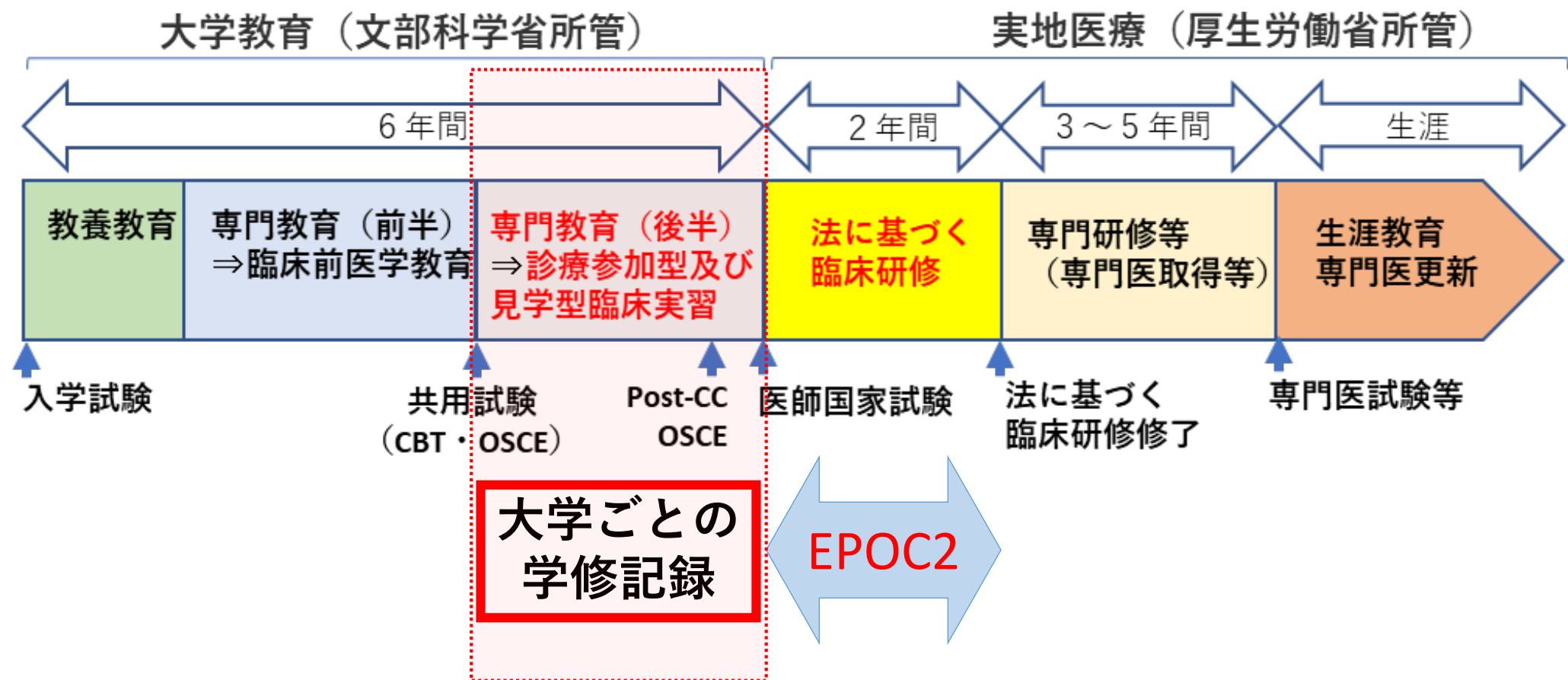
## E-POrtfolio of Clinical training



- 2004年（医師臨床研修必修化）に初代EPOCの運用スタート
- 厚労省施行通知に準拠の卒後臨床研修評価システム
- 2020年の医師臨床研修制度見直しに合わせEPOC2へリニューアル
- データは無期限保存
- 使用料金：2年間（研修修了まで）で3,000円/研修医

# 臨床実習／臨床研修の評価・学修履歴の記録

[現在]

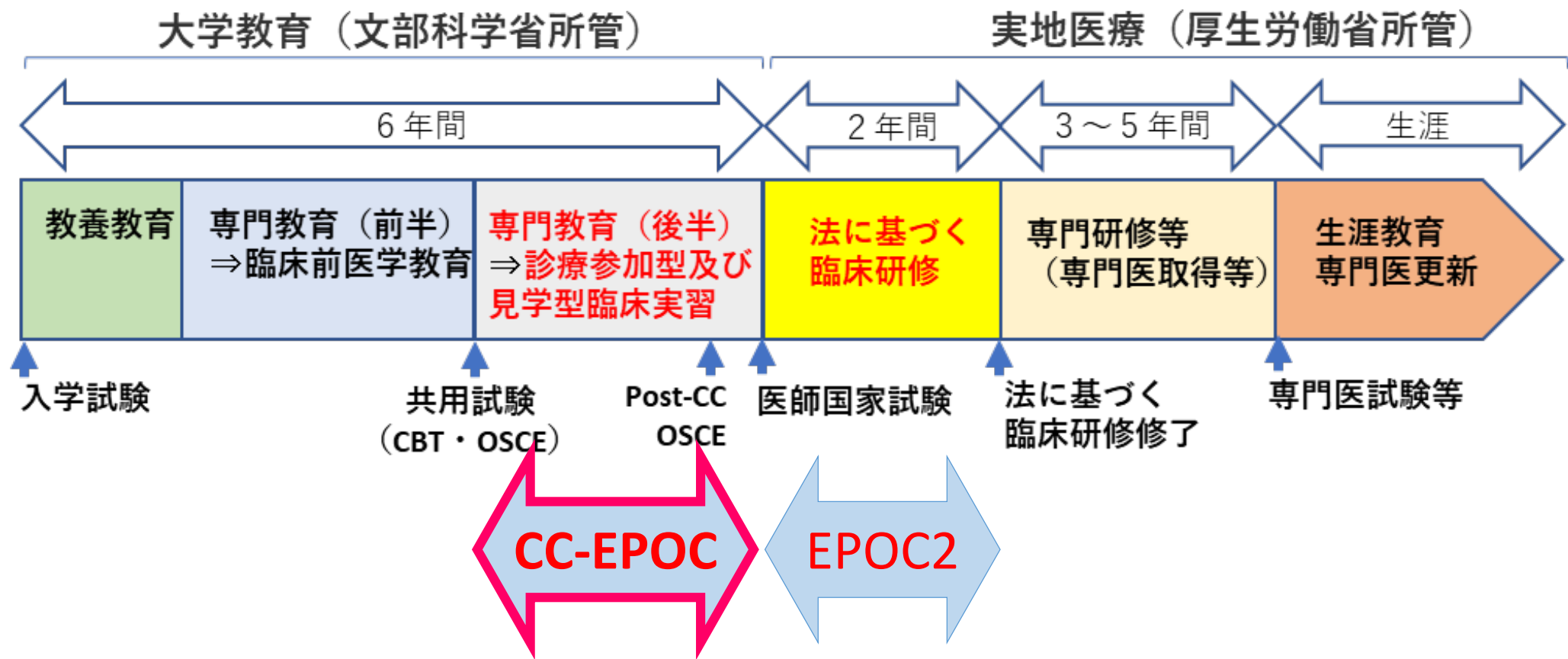




# 臨床実習／臨床研修の評価・学修履歴の記録

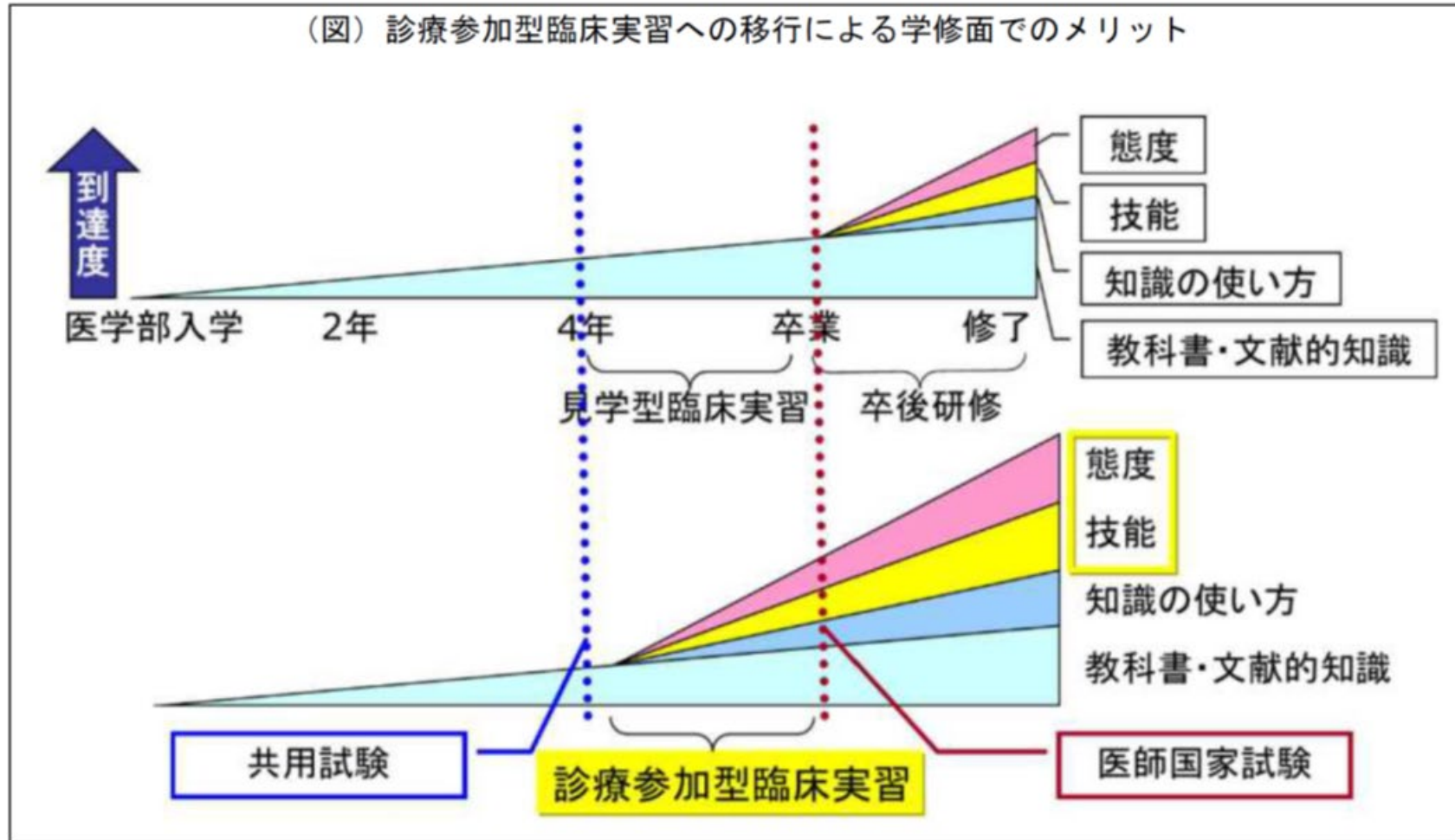
[これから]

EPOC2を臨床実習へ拡張 = CC-EPOC



# 卒前-卒後のシームレスな医学教育への改革が進められている

医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版）より

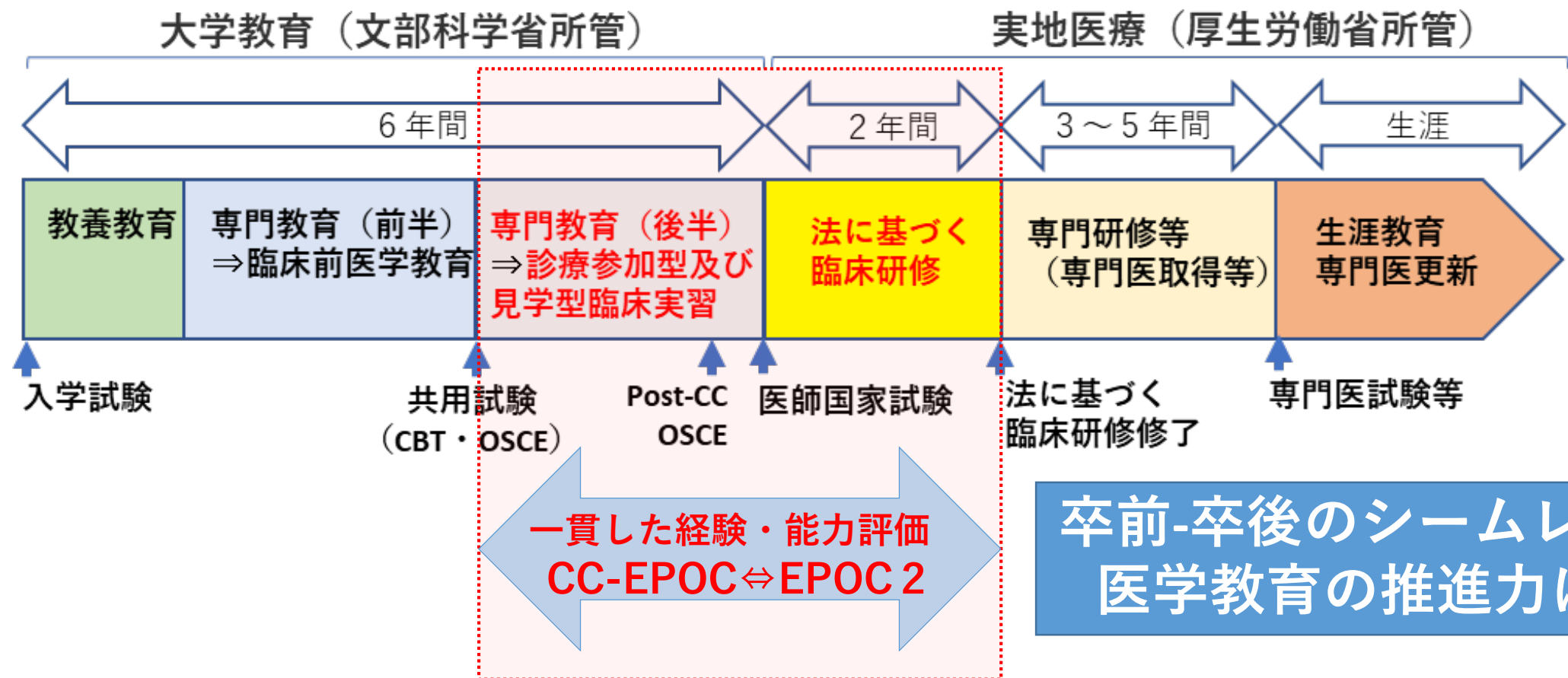


診療参加型臨床実習 = クリニカル・クラークシップ Clinical Clerkship (CC)

学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶこと<sup>10</sup>

# CC-EPOC / EPOC2の導入で

## 臨床実習 / 臨床研修のシームレスな 評価・学修履歴の記録が可能に！



# 卒前臨床実習(医学生) と卒後臨床研修 (研修医) のシームレスな連携評価のメリット

1. 重複のない効率的な臨床実習・臨床研修の計画・実施
2. 到達度に基づく効果的な臨床実習・臨床研修の制度設計



医師の基本的な診療能力の向上

# CC-EPOC 2 つの世界初

1. 卒後臨床研修医用のEPOC 2 と連携して、  
医学生から研修医までの成長をシームレスに評価
2. 国家レベルの大規模データベースとして、  
医師の成長過程を記録  
(欧米にも国家レベルのデータベースはなし)

## II. 患者と家族による医学生の評価機能

# CC-EPOCの医学生評価

1. 教員・医師による医学生評価

2. 看護師等による医学生評価

3. 患者・家族による医学生評価

(コミュニケーション能力を主体)

⇒大学による適切なフィードバックと  
教育・指導が実施可能

# 医師のコミュニケーション能力

医師のコミュニケーション能力は、患者・家族のために重要  
⇒近年の医学教育ではコミュニケーション能力の養成を重視

- ・挨拶ややりとりがきちんとしてできる
- ・医師にふさわしい身だしなみができる
- ・丁寧にわかりやすく親身に説明ができる
- ・患者・家族のニーズをきちんと把握できる



# CC-EPOC 患者・家族による医学生の評価機能 (コミュニケーション能力を主な対象)

	期待を大きく 下回る	期待を 下回る	期待通り	期待を大きく 上回る	観察機会 なし
✓ A-1.社会的使命と公衆衛生への寄与	1	2	3	4	-
✓ A-2.利他的な態度	1	2	3	4	-
✓ A-3.人間性の尊重	1	2	3	4	-
✓ A-4.自らを高める姿勢	1	2	3	4	-

✓ 良かった点

0 / 1000文字

✓ 改善すべき点

	臨床実習開始前のレベル	臨床実習開始時のレベル	臨床実習の中間時点で期待されるレベル	臨床実習終了時(卒業時)のレベル	臨床研修の中間時点で期待されるレベル	観察機会なし
✓ 4.コミュニケーション能力	1	2	3	4	5	-
(1) コミュニケーション	1	2	3	4	5	-
1) コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 2) コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 3) 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。						
(2) 患者と医師の関係	1	2	3	4	5	-
1) 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 2) 患者に分かりやすい言葉で説明できる。 3) 患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 4) 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 5) 患者の要望(診察・転移・紹介)への対処の仕方を説明できる。 6) 患者のプライバシーに配慮できる。 7) 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。17						

### III. CC-EPOCと新型コロナウイルス流行

# CC-EPOCと新型コロナウイルス流行

新型コロナウイルス流行でオンラインで臨床実習を実施する大学が増えている

- 1)CC-EPOCは、医学生と教員がまったく接触することなく、お互いの評価を共有することが可能で、また集計にあたる事務職員等の出勤も必要ない
- 2)医学生、教員、事務職員が接触しなくても、臨床実習の評価をフィードバックすることが可能



CC-EPOCは、現在及び将来に渡って、感染症流行下の臨床実習に非常に有用

# まとめ

- I. ○世界初の医学生（卒前）と研修医（卒後）の成長のシームレスな連携評価  
○世界初の医師の成長過程の国家レベル大規模データベース  
⇒臨床実習・臨床研修の効率的な実施及び制度の改善  
⇒医師の診療能力の向上
- II. 患者・家族による医学生のコミュニケーション能力等の評価機能  
⇒医師のコミュニケーション能力の改善
- III. 医学生、教員、事務職員の接触しなくても、臨床実習の評価を共有できフィードバックが可能  
⇒新型コロナ流行下での臨床実習に非常に有用